

木津町・木津川市ふれあい文化講座の講演記録

木津町ふれあい文化講座の過去の講演記録							
年度	年度内回数	通算回数	開催日等	講演内容等		講演内容等	
平成8年度	1	1	8/31 156名	木津町と奈良	元帝塚山短期大学教授 青山 茂	興福寺	奈良興福寺貫首 多川 俊映
	2	2	11/16 120名	東大寺南大門仁王像のはなし	奈良県教育委員会文化財保存課主査 鈴木 喜博	相楽郡と万葉集	奈良女子大学名誉教授 本田 義憲
	3	3	2/1	シンポジウム 樋ノ口遺跡を考える～寺院跡か、離宮跡かをめぐって～ 奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部史料調査室長 毛利光 俊彦 (コーディネーター) 樋ノ口遺跡は離宮か	京都府埋文センター調査第2課第1係長 伊野 近富 (パネリスト)	樋ノ口遺跡は山田寺、の主張	京都大学教授 足利 健亮 (パネリスト)
			134名	奈良時代の離宮の瓦	京都大学教授 上原 真人 (パネリスト)	樋ノ口遺跡を考える	滋賀県立大学助教授 高橋 美久二 (パネリスト)
4	4	3/15 128名	奈良と木津を結ぶ道	滋賀県立大学助教授 高橋 美久二	奈良時代の瓦工場	帝塚山大学教授 森 郁夫	
平成9年度	1	5	6/28 151名	中世の木津と奈良	元京都府総合資料館次長 黒川 直則	敦煌と奈良	奈良女子大学教授 松尾 良樹
	2	6	9/27 92名	うるしの話 もの・人との出会い	漆芸家 (漆工芸選定保存技術保持者) 北村 昭斎	南山城の古代文化	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター長 工楽 善通
	3	7	10/25 78名	正倉院の工芸	宮内庁正倉院事務所保存課長 木村 法光	古典文学と木津	奈良女子大学教授 坂本 信幸
	4	8	2/28 123名	恭仁京と行基	京都大学教授 足利 健亮	木津川の生いたちと自然環境	奈良大学教授 池田 碩
平成10年度	1	9	5/30 162名	木津周辺の城館跡と歴史的環境	大阪大学教授 村田 修三	黒塚古墳の鏡と卑弥呼?	滋賀県立大学教授 菅谷 文則
	2	10	9/26 79名	庭と緑の日本史	奈良女子大学名誉教授 近藤 公夫	明治維新期の南都寺院と興福寺	元興寺文化財研究所主任研究員 吉井 敏幸
	3	11	10/24 92名	恭仁京と東大寺法華堂 文字瓦が語る造営の背景	京都大学教授 上原 真人	正倉院展 今年の見どころ	宮内庁正倉院事務所保存科学室長 成瀬 正和
	4	12	2/27 120名	仏像にみる花のデザイン	愛知県立芸術大学教授 山崎 隆之	平城京から恭仁京へ	京都大学教授 足利 健亮
平成11年度	1	13	5/29 142名	古都奈良の文化財 世界遺産登録によせて	奈良市世界遺産室 中井 公(伊)	南山城の古代文化	関西大学名誉教授 網干 善教(ヨリ)
	2	14	7/10 150名	消えゆく南山城の神と仏の行事 茅輪くぐりと盂蘭盆	奈良県立民俗博物館 奥野 義男	新発見・富本銭をめぐって	京都橘女子大学長 (元京都府立大学長) 門脇 禎二
	3	15	10/30 170名	正倉院展 今年の見どころ	宮内庁正倉院事務所保存課調査室技官 西川 明彦	ヤマト王権と南山城	堺女子短期大学長 塚口 義信
	4	16	2/26 97名	こよみ 世界と日本の暦	時の博物館長 後藤 晶男	かわらの話	伝統技術保存保持者 山本 清一
平成12年度	1	17	6/24 128名	奈良異聞 奈良と木津とのかかわりを中心に	帝塚山短期大学名誉教授 青山 茂	弥生時代の始まり	立命館大学教授 家根 祥多
	2	18	8/27	シンポジウム 木津町の古代瓦窯 奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部史料調査室長 毛利光 俊彦 (コーディネーター) 平城京瓦の研究史と平城山の調査	帝塚山大学考古学研究所所長・教授 森 郁夫 (パネリスト)	木津の瓦窯群の調査 窯構造の変遷を中心に	京都府教育委員会文化財保護課技師 有井 広幸 (パネリスト)
			98名	木津の瓦窯群出土の瓦	福井県教育庁埋文センター嘱託研究員 奥村 茂輝 (パネリスト)	?	京都府埋文センター主任調査員 戸原 茂人 (?)
	3	19	9/23 71名	「古代史・21世紀の課題」	京都橘女子大学文学部教授 門脇 禎二	「江戸時代の木津郷」	京都府立大学文学部教授 水本 邦彦
	4	20	10/28 68名	正倉院宝物の構造を見る 今年の正倉院展出品を中心に	宮内庁正倉院事務所保存課調査室研究員 西川 明彦	興福寺で活躍した仏師たち 院政期を中心にして	京都大学大学院文学研究科助教授 根立 研介
5	21	2/24 98名	藤原定家と冷泉家	同志社女子大学現代社会学部教授 龍谷 寿	年輪年代学と歴史学	奈文研埋蔵文化財センター発掘技術調査室長 光谷 拓実	

木津町・木津川市ふれあい文化講座の講演記録

平成13年度	1	22	5/19 117名	考古学からみた“鬼”の諸相	独立行政法人 文化財研究所 奈良研飛鳥藤原宮跡 発掘調査部史料調査室長 毛利光 俊彦	日本文化の形成と渡来人 南山城を中心に	奈良女子大学文学部教授 佐藤 宗諱
	2	23	9/29 96名	古代の金銅仏 東大寺大仏と薬師寺講堂三尊像	奈良県教育委員会文化財保存課主査 神田 雅章	キトラ古墳の壁画と被葬者 飛鳥研究と新発見	京都府立大学名誉教授 門脇 禎二
	3	24	10/27 98名	正倉院宝物の故郷	宮内庁正倉院事務所保存課保存科学室長 成瀬 正和	継体天皇の登場 継体天皇は新王朝の創始者か	堺女子短期大学長 塚口 義信
	4	25	2/16 126名	万葉びとの生活	奈良大学助教授 上野 誠	考古学からみた雄略・継体期	立命館大学教授 和田 晴吾
平成14年度	1	26	6/29 112名	大和の考古学の現状	倉敷芸術科学大学芸術学部教授 岡 幸二郎	奈良朝官人の文字教育 埋もれた天平の文字資料	帝塚山大学教授 森 郁夫
	2	27	9/21 88名	シンポジウム 鹿背山城の歴史と活用 南山城をめぐる城と戦い	織豊期城郭研究会会長 中井 均	城郭史からみた鹿背山城 鹿背山城跡の保存・活用に向けた整備	元大阪大学教授 村田 修三
	3	28	11/30 77名	今年の正倉院展を振り返って	宮内庁正倉院事務所 田中 陽子	NHKドラマ「聖徳太子」 ーその時代考証を担当してー	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所 文化遺産研究部主任研究官 小野 健吉
	4	29	2/22 100名	南山城の仏像を巡って	京都市立芸術大学美術学部講師 礪波 恵昭	聖武天皇の紫香楽宮	京都府立大学名誉教授 門脇 禎二
平成15年度	1	30	5/17 99人	文化遺産としての奈良	関西大学文学部教授 高橋 隆博	南山城の考古学的思いで	元奈良国立文化財研究所所長 坪井 清足
	2	31	9/27 103人	今年の正倉院展の見どころ	宮内庁正倉院事務所保存課調査室員 飯田 剛彦	神武伝説の形成 ー“日向”出発は何を意味するかー	堺女子短期大学長 塚口 義信
	3	32	11/22 70人	長岡京跡から出土した樽	京都造形芸術大学教授 岡田 文男	ミヤケと荘園の瓦生産 ー大安寺棚倉瓦屋との関わりでー	京都大学教授 上原 真人
	4	33	2/21 122人	五条野(見瀬)丸山古墳と梅山古墳(欽明陵)の被葬者	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所 主任研究官 小沢 毅	日本文化の形成と南山城の古史	京都府立大学名誉教授 門脇 禎二
平成16年度	1	34	6/27 125人	『多聞院日記』と多聞院英俊	天理大学おやさと研究所研究員 幡鎌 一弘	泉津と泉橋	奈良女子大学教授 館野 和己
	2	35	9/25 125人	今年の正倉院展の見どころ	宮内庁正倉院事務所保存課長 杉本 一樹	「畿内」で語る邪馬台国九州説	京都府立大学名誉教授 門脇 禎二
	3	36	11/28 105人	木簡からみた古代の木津と平城京	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所 平城宮発掘調査部史料調査室長 渡辺 晃宏	奈良三彩の誕生を巡って	大阪大学大学院教授 高橋 照彦
	4	37	2/26 102人	秘境雲南に古代瓦作りを求めて	近畿大学教授 大脇 潔	泉津と平城京	大阪市立大学教授 栄原 永遠男
平成17年度	1	38	6/25 129人	平城京造営の謎をとく	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第一室長 井上和人	吐魯番(トルファン)文書の手紙を読む ー敦煌文書・正倉院文書との関わりー	奈良女子大学教授 松尾 良樹
	2	39	9/25 139人	正倉院宝物をめぐる絵の具の話	宮内庁正倉院事務所保存科学室長 成瀬 正和	古代の戦争 ータケルから防人までー	京都府立大学名誉教授 門脇 禎二
	3	40	11/26 132人	木津にあった東大寺の瓦屋	(財)大阪府文化財センター技師 奥村 茂輝	高松塚古墳とキトラ古墳の保存問題	関西大学名誉教授 網干 善教
	4	41	2/26 96人	鎌倉期の東大寺復興	元帝塚山大学講師 菅田 淳一	縄文時代像を見直す	京都大学埋蔵文化財研究センター助手 千葉 豊
平成18年度	1	42	6/25 103人	大和郡山市下三橋遺跡の発掘調査について	大和郡山市教育委員会主任 山川 均 (財)元興寺文化財研究所主任研究員 佐藤重聖	木簡は語るー文字社会の様相ー	奈良女子大学名誉教授 佐藤 宗諱
	2	43	9/23 112人	弥生時代の機織り	大阪樟蔭女子大学非常勤講師 酒野 晶子	正倉院宝物の保存	宮内庁正倉院事務所保存科学室長 成瀬 正和
	3	44	11/26 114人	古代東アジアのやきものの硯 ー平城宮跡出土例を中心にー	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所 都城発掘調査部長 川越俊一	最近のソガ氏論と飛鳥	京都府立大学名誉教授 門脇 禎二
	4	45	1/27 112人	長岡京と都のまつり	(財)京都市埋蔵文化財研究所統括主任 上村和直	古代における泉津	奈良女子大学教授 館野 和己

木津町・木津川市ふれあい文化講座の講演記録

木津川市ふれあい文化講座の過去の講演記録							
年度	年度内回数	通算回数	開催日等	講演内容等		講演内容等	
平成19年度	1	46	9/22(土) 210人	聖武天皇関東行幸と恭仁京遷都 —光明皇后平城京留守の意味するもの—	三重大学教授 山中 章	恭仁京造営の歴史的意義	京都大学名誉教授 上田正昭
	2	47	10/27(土) 105人	偽文書からみる畿内国境地域史 —椿井文書の分析を通じて—	枚方市立中央図書館市史資料室 市史資料調査専門員 馬部隆弘	史跡興福寺の境内整備	元奈良国立文化財研究所所長 鈴木嘉吉
	3	48	11/18(日) 113人	興福寺と伝統文化	興福寺執事長 森谷 英俊	木津川と水運	京都女子大学文学部教授 綾村 宏
	4	49	2/23(土) 133人	水害を歴史・地域・空間から考える	京都府京都土木事務所 河川砂防室専門員 霜田 勤	恭仁京と木津川—起源と継承—	京都大学大学院教授 金田章裕
平成20年度	1	50	6/28(土) 157人	奈良山丘陵の天皇陵	同志社女子大学教授 山田 邦和	聖徳太子の虚像と実像 —聖徳太子の「天皇業」とは何か—	堺女子短期大学学長 塚口 義信
	2	51	9/21(日) 119人	木簡学の現在	(独法)国立文化財機構奈良文化財研究所都城発掘調査部 史料調査室長 渡辺 章宏	古代における寺院造営技術の伝播 —同範軒瓦の分布から—	帝塚山大学教授 森 郁夫
	3	52	11/22(土) 110人	松永久秀の大和支配と鹿背山城	NPO法人城郭遺産による街づくり協議会理事長 中井 均	鹿背山城の新しい見方	大阪大学名誉教授 村田 修三
	4	53	2/22(日) 164人	阿修羅よ!	興福寺境内管理室長 藪中 五百樹	興福寺創建1300年	興福寺執事 多川 良俊
平成21年度	1	54	6/21(日) 147人	馬場南遺跡(神雄寺跡)の保存と活用 —平城山丘陵の歴史的意義—	奈良大学文学部教授 坂井 秀弥	馬場南遺跡をめぐる法会と信仰	奈良大学文学部教授 東野 治之
	2	55	9/12(土) —方格で基盤目状街路を持つ都市の源流を探る—	古代都市のかたちを考える	奈良女子大学教授 出田 和久	古代山辺の道と山城	帝塚山短期大学名誉教授 青山 茂
	3	56	11/22(日)	石のカラト古墳と飛鳥の古墳	花園大学准教授 高橋 克壽	恭仁京と複都制	(勸)京都府埋蔵文化財調査研究センター副理事長 中尾 芳治
	4	57	2/20(土)	馬場南遺跡出土歌木簡をめぐって	奈良女子大学大学院教授 坂本 信幸	纏向遺跡の大型建物と邪馬台国	前奈良大学教授・木津川市文化財保護審議会会長 白石 太一郎
平成22年度	1	58	6/26(土)	史跡奈良山瓦窯跡群について	奈良文化財研究所 主任研究員 清野 孝之	戦国城郭史の中の鹿背山城	大阪大学名誉教授 村田 修三
	2	59	9/19(日)	戦国時代の南山城と鹿背山城	大阪市立大学教授 仁木 宏	大和の条里と下ツ道 —平城京と藤原京—	元興寺文化財研究所所長 坪井 清足
	3	60	11/28(土)	朝鮮式山城の実態	立命館大学教授 高 正龍	興福寺の地鎮・鎮壇	興福寺境内管理室長 藪中 五百樹
	4	61	1/23(日)	南山城の仏像	和歌山県立博物館長 伊東 史朗	古代の大寺院と小寺院	奈良県立橿原考古学研究所所長 菅谷 文則
平成23年度	1	62	6/26(日) 120人	東アジアの鬼瓦	奈良国立博物館学芸部研究員 岩戸 晶子	平城京遷都の真実	奈良文化財研究所副所長 井上 和人
	2	63	9/25(日) 130人	古代日本のガラス文化	奈良芸術短期大学講師 玉城 一枝	恭仁京遷都の意味を考える	奈良文化財研究所所長 田辺 征夫
	3	64	11/27(日) 120人	興福寺・最近の話題 —中金堂再建、荒池瓦窯、北円堂発掘など—	興福寺境内管理室長 藪中 五百樹	聖武天皇 —その虚像と実像—	京都女子大学教授 瀧浪 貞子
	4	65	1/29(日) 180人	天平の少年像 —阿修羅像と西金堂の仏たち—	興福寺国宝館館長 金子 啓明	仏教文化の導入と渡来人	明治大学大学院特任教授 小笠原 好彦
平成24年度	1	66	6/24(日)	貞慶と覚真	京都大学名誉教授 上横手 雅敬	海住山寺の800年 —中興貞慶の願い—	海住山寺住職 佐脇 貞徳
	2	67	9/23(日)	聖武天皇の東国行幸	大阪大学准教授 市 大樹	貞慶の現代性 —<心の時代>に寄せて—	興福寺貴主 多川 俊映
	3	68	11/11(日)	5・6世紀における南山背の王宮と王族	神戸大学准教授 古市 晃	恭仁京遷都とその時代	奈良女子大学教授 館野 和己
	4	69	1/27(日)	古代都城史からみた恭仁京	財団法人京都市埋蔵文化財研究所 網 伸也	行基と泉橋寺	京都大学教授 吉川 真司

木津町・木津川市ふれあい文化講座の講演記録

平成25年度	1	70	6/16(日) 120人	渡来した機織り技術	福井大学講師 東村 純子	難波宮と難波津	大阪歴史博物館
	2	71	9/29(日) 100人	興福寺堅義加行～千年の歴史～	興福寺録事 辻 明俊	木簡からたどる奈良の都とその時代	奈良文化財研究所史料研究室長
	3	72	11/24(日) 80人	平城宮北方における苑池 —『松林苑』と『南苑』に関する一考察—	奈良県立橿原考古学研究所 本村 充保	一眼一銭 —立売・座売・茶屋—	帝塚山大学教授 源城 政好
	4	73	1/19(日)	藤氏長者宣下の再検討	大手前大学非常勤講師 樋口 健太郎	年輪から平安～中世建築の年代を探る	奈良文化財研究所客員研究員 光谷 拓実
平成26年度	1	74	7/19(土) 200人	『南山城の古寺巡礼』を振り返って	京都国立博物館学芸部考古室長 宮川 禎一	邪馬台国はどこにあったか —魏志倭人伝を読み直す—	国際日本文化研究センター名誉教授 村井 康彦
	2	75	9/28(日)	興福寺における四度加行	興福寺僧侶 大森 俊貴	唐代の庶民の学んだ中国古典	奈良女子大学名誉教授 松尾 良樹
	3	76	11/22(土)	難波京を考える	大阪文化財研究所調査課長 高橋 工	長岡京遷都の不思議解決 —後期難波宮移建をめぐって—	龍谷大学教授 國下 多美樹
	4	77	1/25(日) 190人	大仏鉄道と新木津駅	天理大学天理参考館 乾 誠二	近世の伊賀街道と古代恭仁宮	奈良文化財研究所歴史研究室長 吉川 聡
平成27年度	1	78	6/28(日)				
	2	79	9/26(土)				
	3	80	11/21(土)				
	4	81	1/24(日)				
平成28年度	1	82					
	2	83					
	3	84					
	4	85					